

## 6. 災害対策について

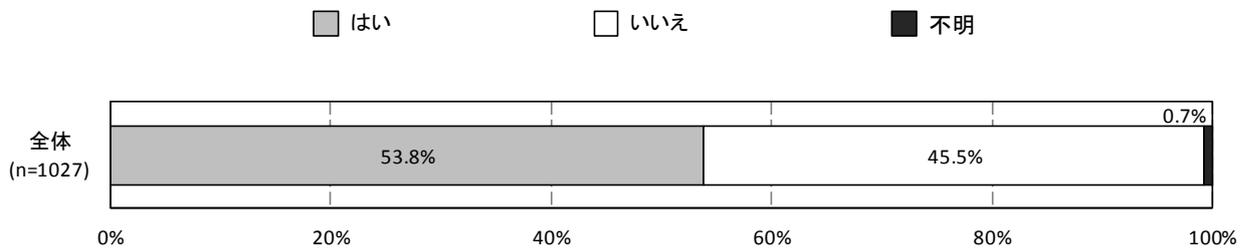
### 問 23 災害への備え

問 23 あなたは現在、水や食料を買い置きしておく等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

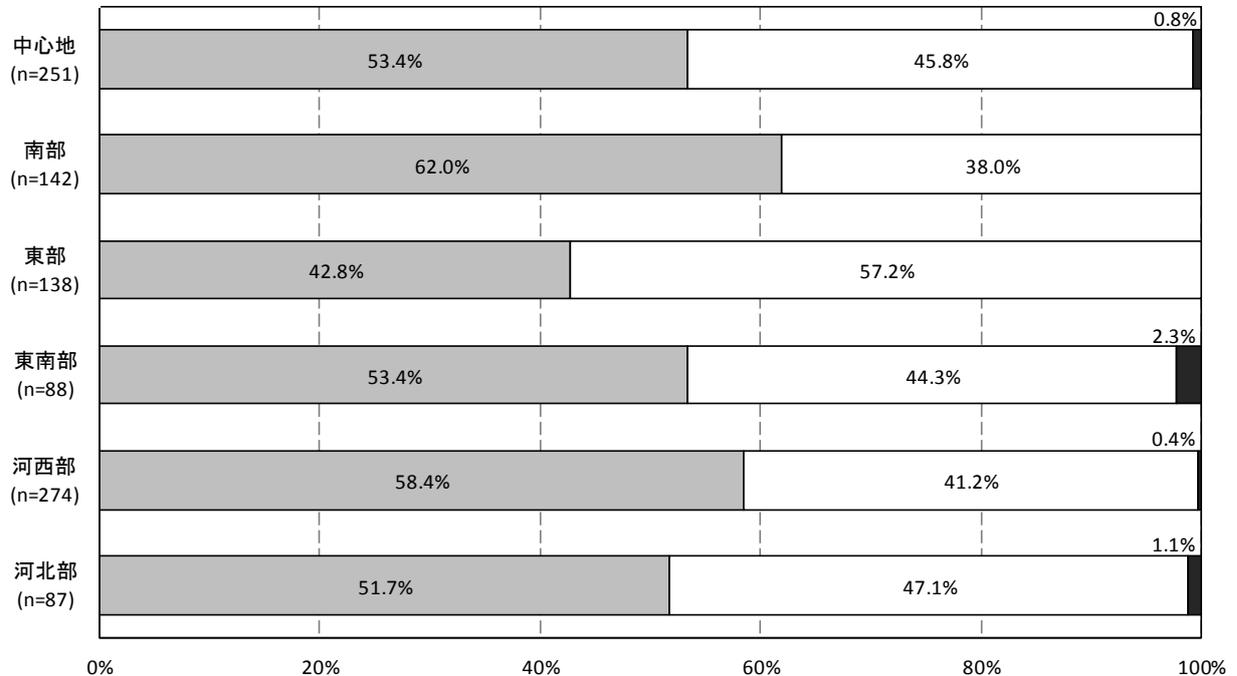
1. はい

2. いいえ

災害に対する備えの実施は、「はい」が53.8%となっており、「いいえ」(45.5%)を上回っている。地域別にみると、実施率は南部(62.0%)が最も高く、最も低いのは東部(42.8%)となっている。年代別にみると、実施率は70~79歳(62.2%)が最も高く、20~29歳(34.4%)が最も低くなっている。

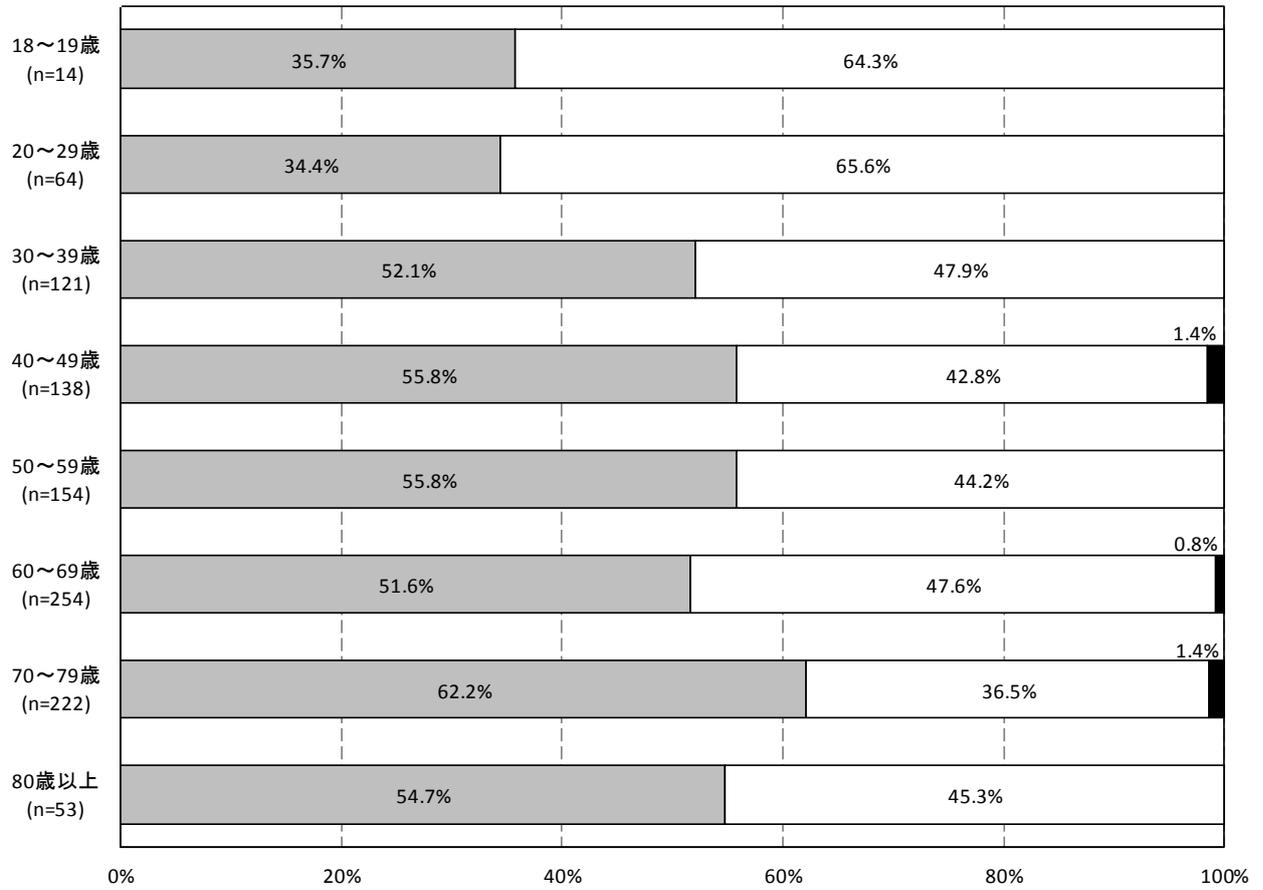


#### <地域別>



はい
  いいえ
  不明

<年代別>

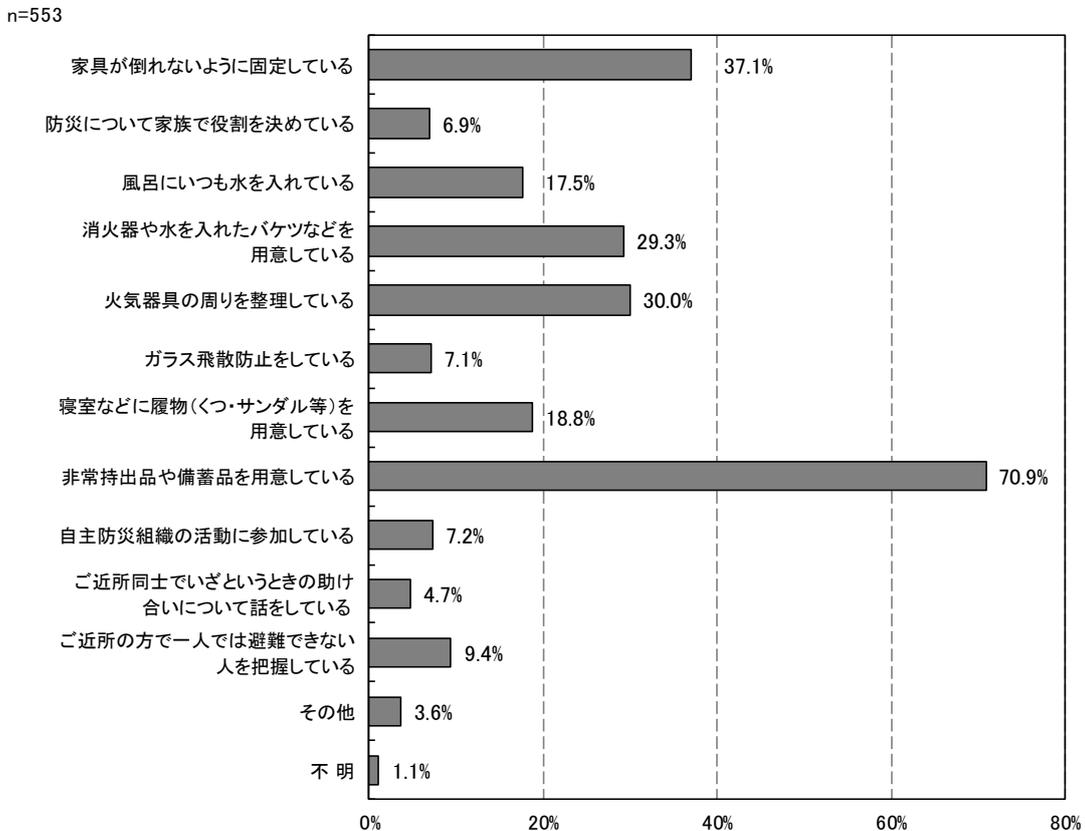


問 23-1 災害に備えていること

問 23-1 問 23 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 家具が倒れないように固定している
2. 防災について家族で役割を決めている
3. 風呂にいつも水を入れている
4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している
5. 火気器具の周りを整理している
6. ガラス飛散防止をしている
7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）を用意している
8. 非常持出品や備蓄品を用意している
9. 自主防災組織の活動に参加している
10. ご近所同士でいざというときの助け合いについて話をしている
11. ご近所の方で一人では避難できない人を把握している
12. その他（ )

問 23 で「1. はい」と回答した 553 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 70.9%と最も多く、次いで「家具が倒れないように固定している」(37.1%)、「火気器具の周りを整理している」(30.0%)、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」(29.3%) の順となっている。

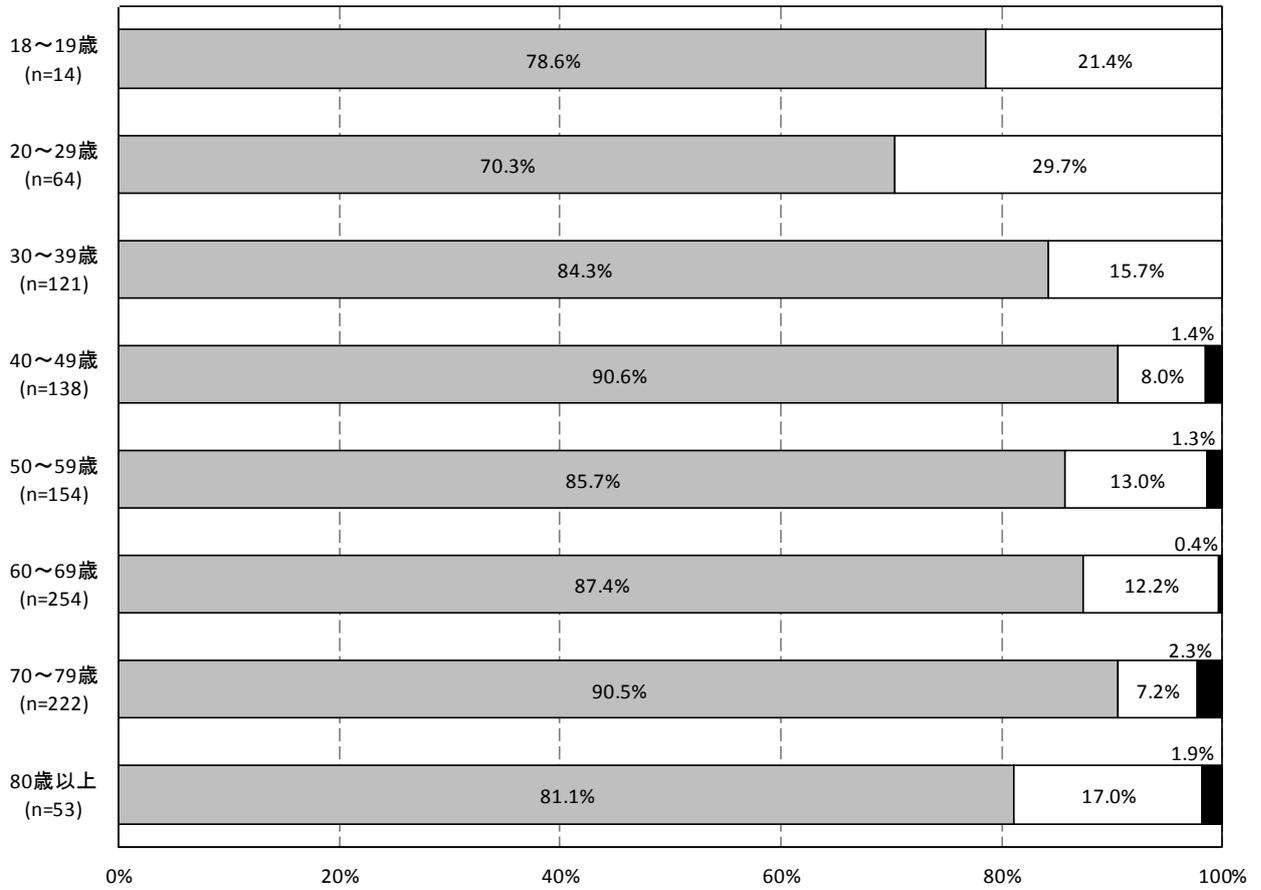


その他：「飲料水の買い置き」、「家族で避難先を決めている」、「自家発電できるようにしている」など



知っている
  知らない
  不明

<年代別>



## 問 25 防災への取り組み

問 25 あなたは、災害から身を守るために、どの避難場所に逃げるか、どんな経路を通して逃げるか、日頃から調べたり、話し合ったりしていますか？

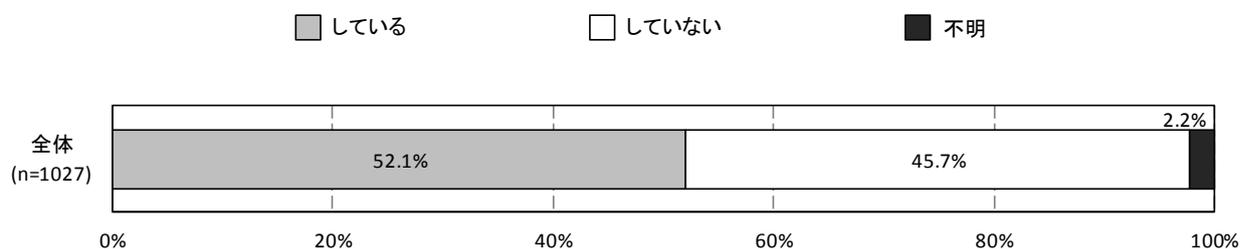
1. している

2. していない

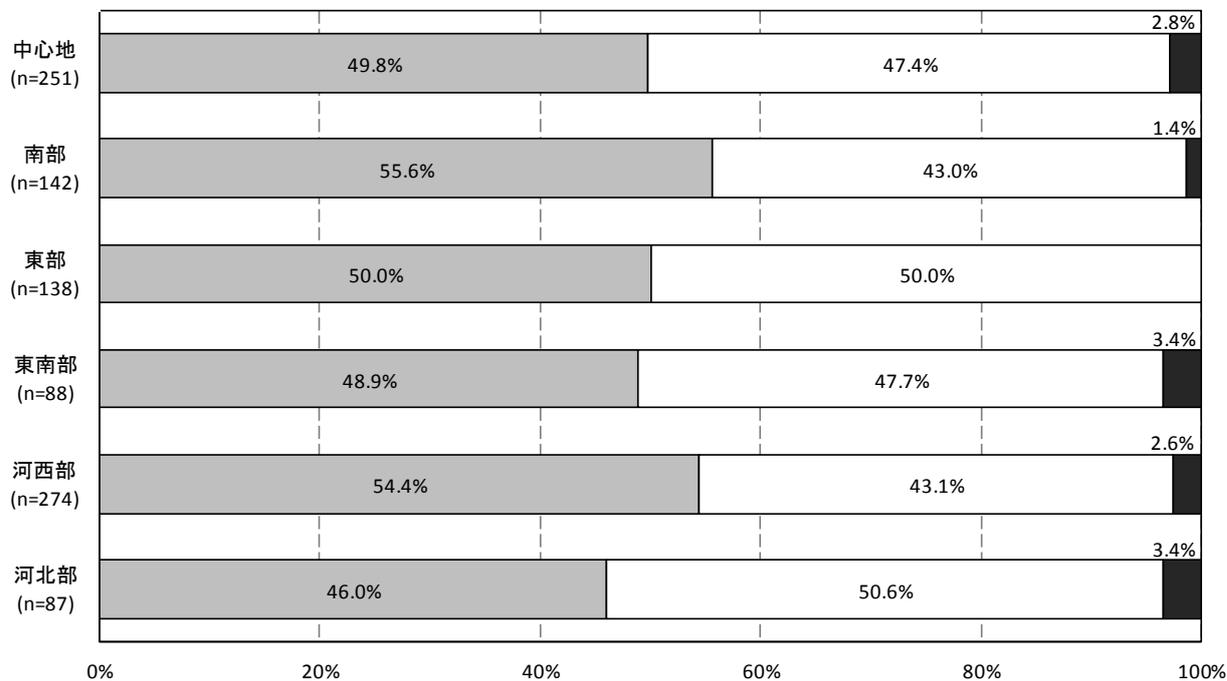
災害から身を守るために日頃から調べたり、話し合ったりしているかについて、「している」が52.1%、「していない」が45.7%となっている。

地域別にみると、「している」が最も高いのは南部で55.6%、最も低いのは河北部で46.0%となっている。

年代別にみると、「している」が20～39歳、50～59歳、80歳以上が半数を下回っている。



### <地域別>

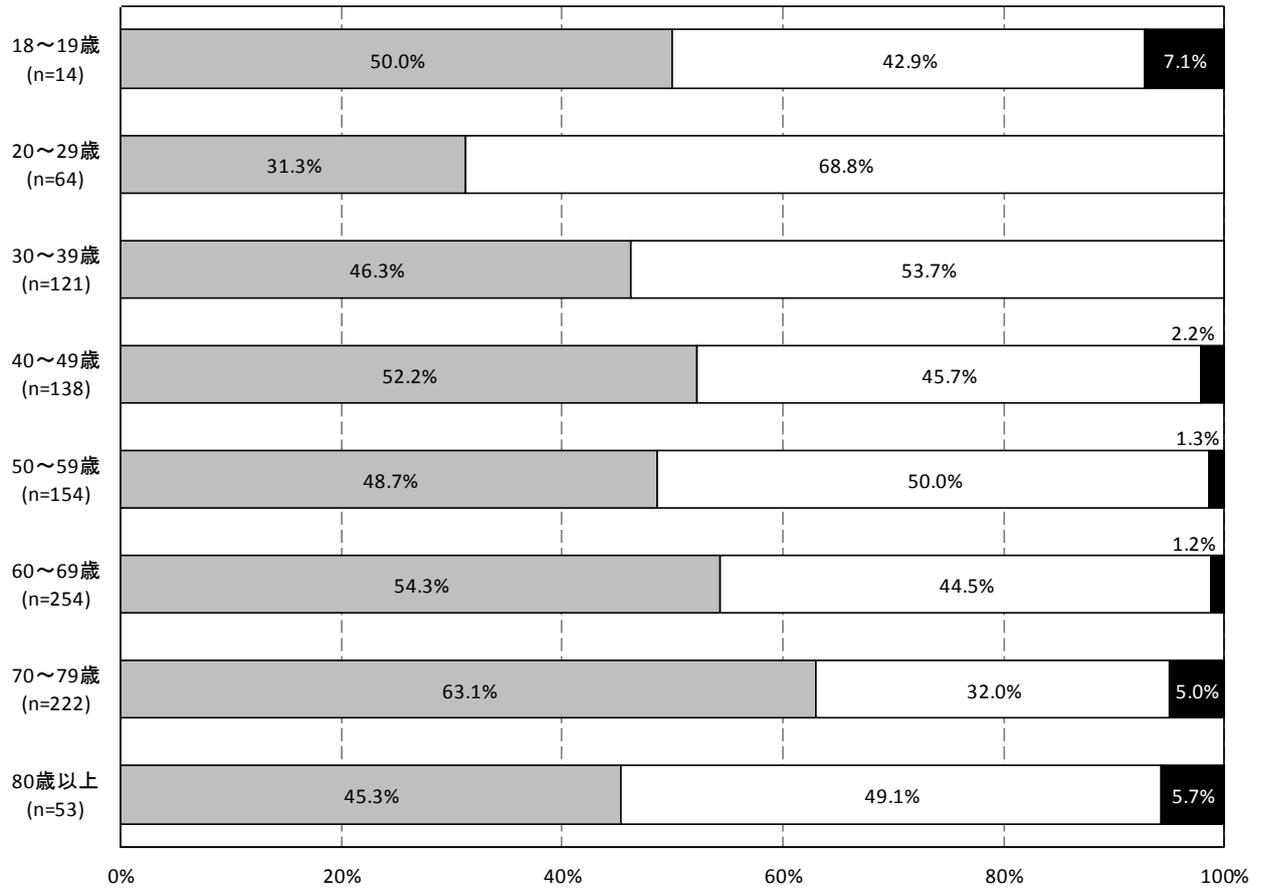


■ している

□ していない

■ 不明

<年代別>



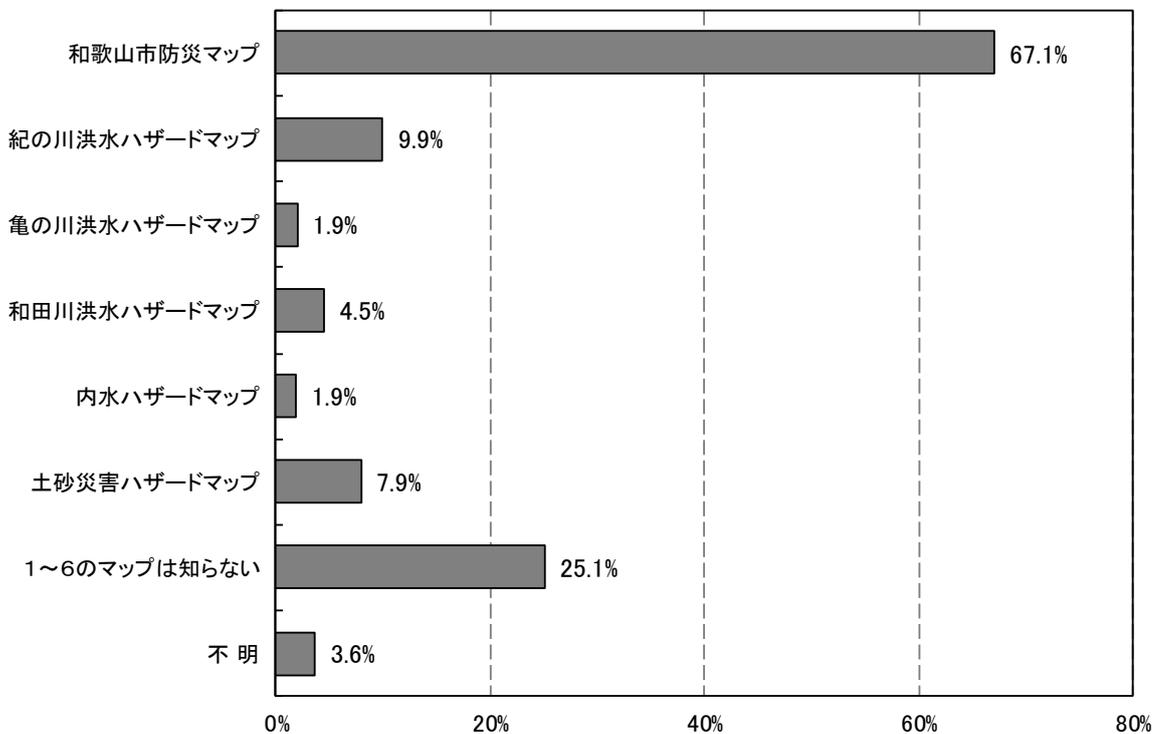
## 問 26 ハザードマップの認知度

問 26 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 内水ハザードマップ
6. 土砂災害ハザードマップ
7. 1～6のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 67.1%と最も多い。「1～6 のマップは知らない」は 25.1%となっている。

n=1027





問 28 防災行政無線からの情報伝達

問 28 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

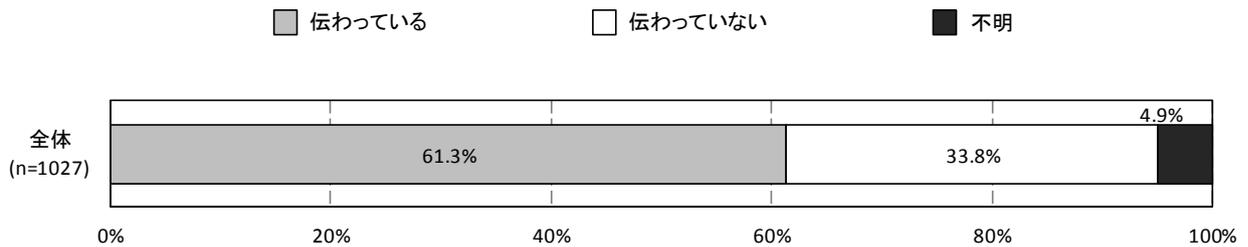
1. 伝わっている

2. 伝わっていない【理由：

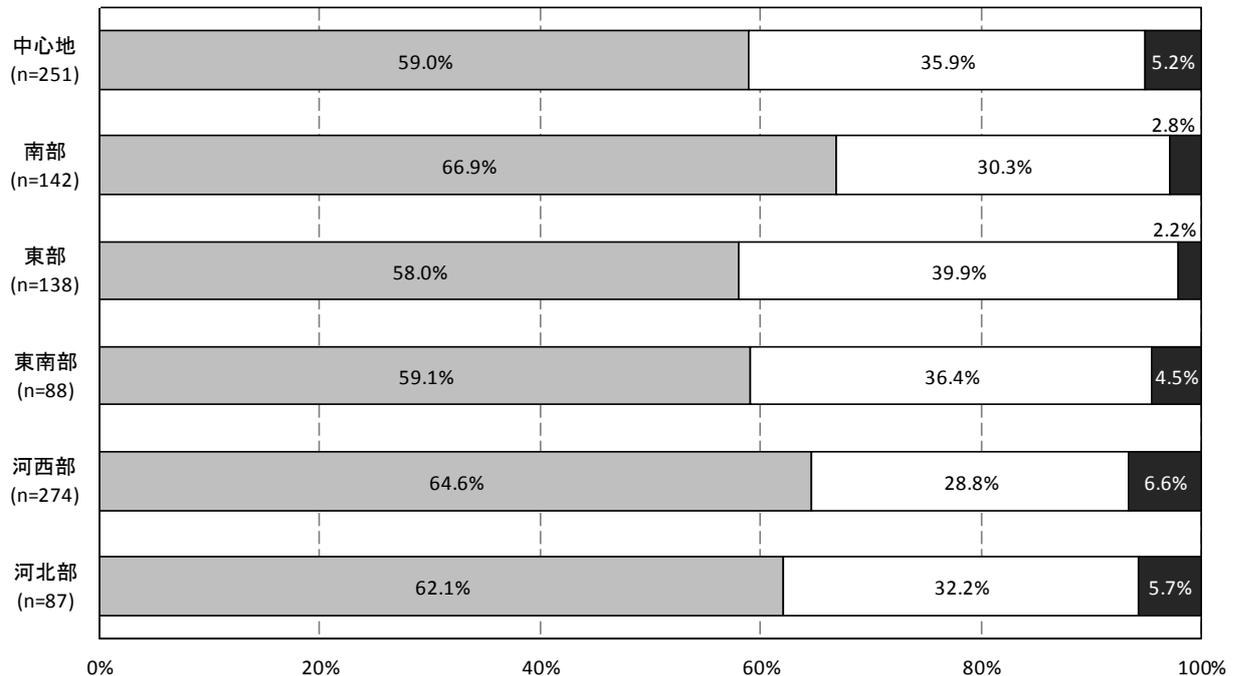
】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が 61.3%、「伝わっていない」は 33.8%となっている。

地域別にみると、「伝わっていない」は東部で 39.9%と高くなっている。



<地域別>



理由：「天候によって聞こえない」、「室内にいると聞こえない」、「音が小さい」、「音が反響、割れる」、「設置場所が遠い」、「防災行政無線が設置されていない」、「周りの騒音で聞こえない」など

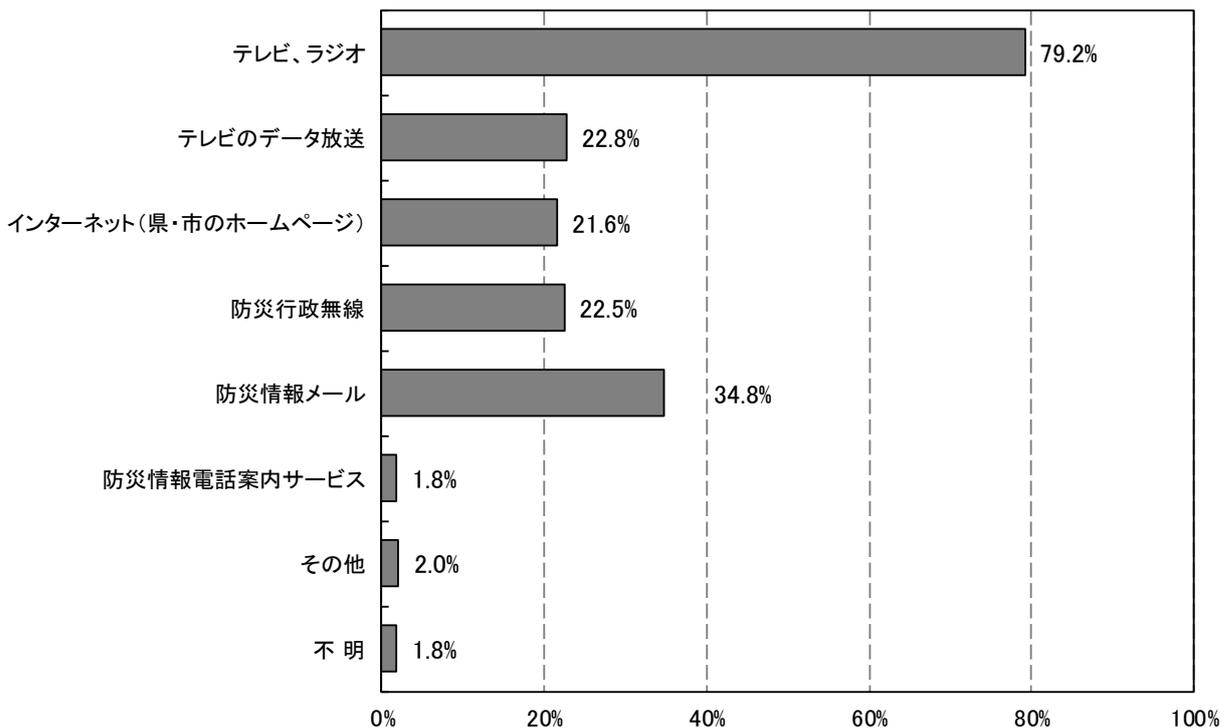
## 問 29 災害時の情報源

問 29 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. テレビ、ラジオ
2. テレビのデータ放送
3. インターネット（県・市のホームページ）
4. 防災行政無線
5. 防災情報メール
6. 防災情報電話案内サービス
7. その他（ ）

防災時の情報源は、「テレビ、ラジオ」が79.2%と最も多く、次いで「防災情報メール」(34.8%)、「テレビのデータ放送」(22.8%)、「防災行政無線」(22.5%)、「インターネット（県・市のホームページ）」(21.6%)の順となっている。

n=1027



その他：「スマートフォン・携帯電話」、「インターネット（県・市以外のホームページ）」など

### 問 30 家具の転倒防止用固定金具取付事業の認知度

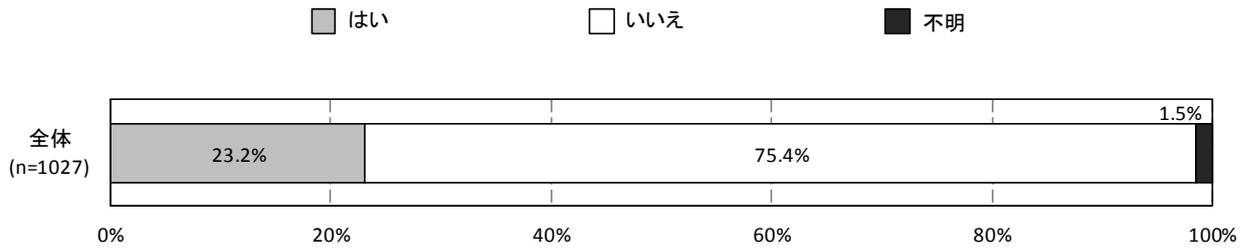
問 30 あなたは、和歌山市が65歳以上の方だけの世帯やいくつかの条件にあてはまる方を対象に家具の転倒防止用固定金具取付事業を行っていることを知っていますか？

1. はい

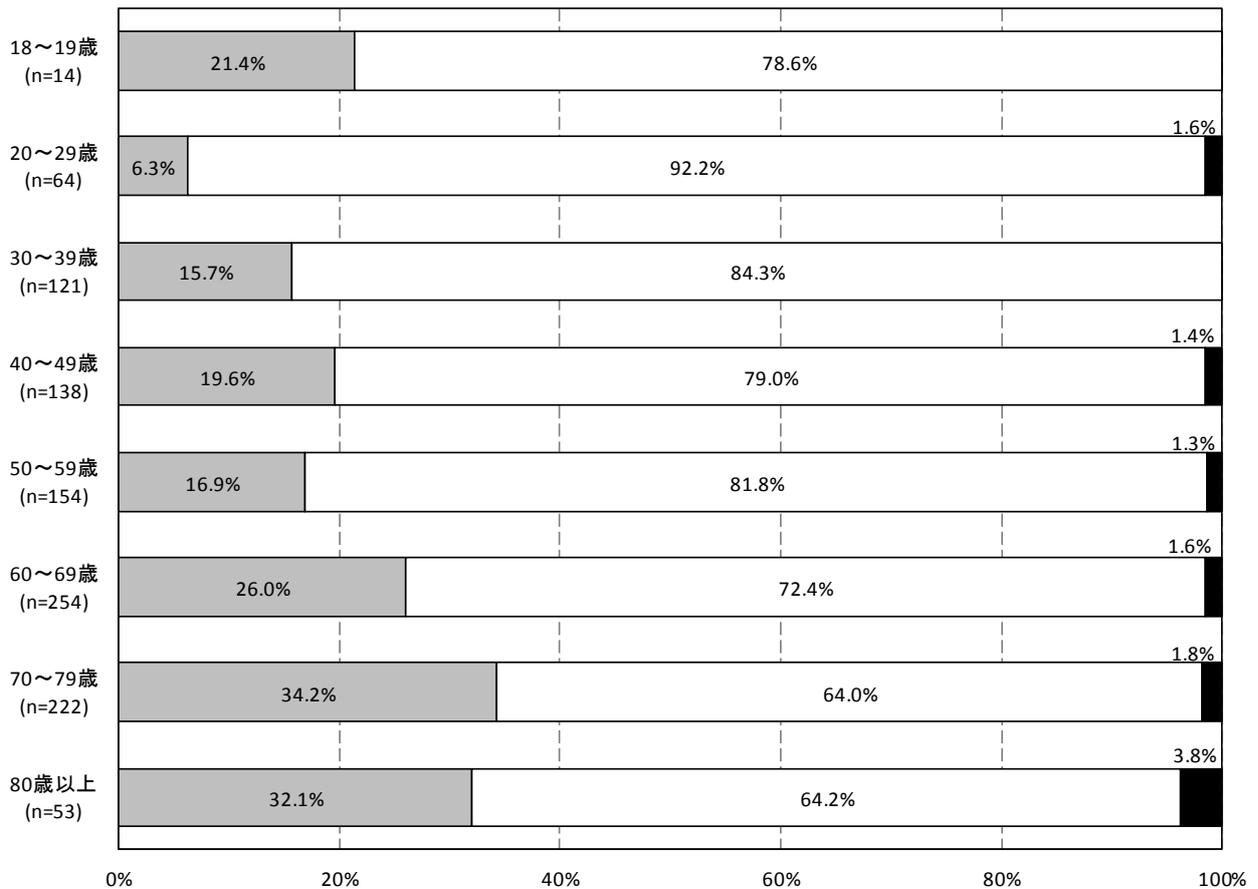
2. いいえ

家具の転倒防止用固定金具取付事業を知っているかについて、「はい」が23.2%、「いいえ」が75.4%となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「いいえ」が60%を超えている。



#### <年代別>



### 問 30-1 事業対象者になった場合の利用について

問 30-1 問 30 の事業の対象であれば、利用したいと思いますか？

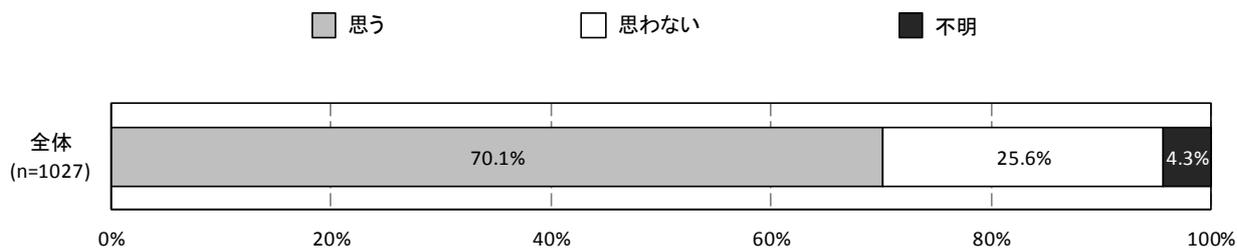
1. 思う

2. 思わない

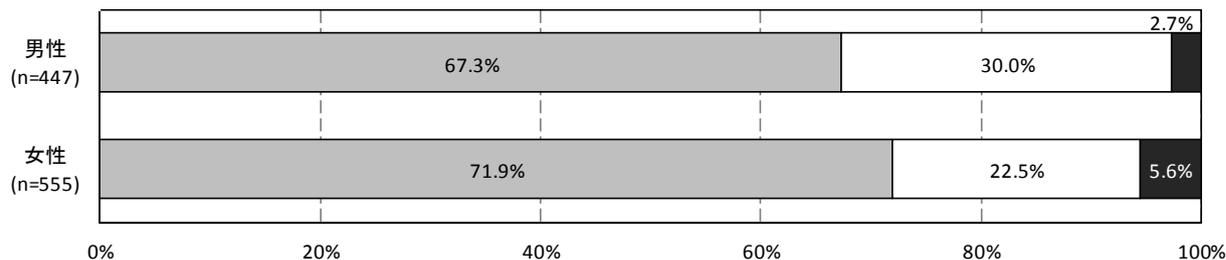
問 30 の事業対象者になった場合の利用したいかについて、「思う」が 70.1%、「思わない」が 25.6% となっている。

男女別で見ると、男女で大きな違いはみられない。

年代別にみると、「思う」がいずれの年代も 60%以上となっており、18~19 歳が 92.9%と最も高く、年齢が低いほど「思う」の意見が多い傾向にある。

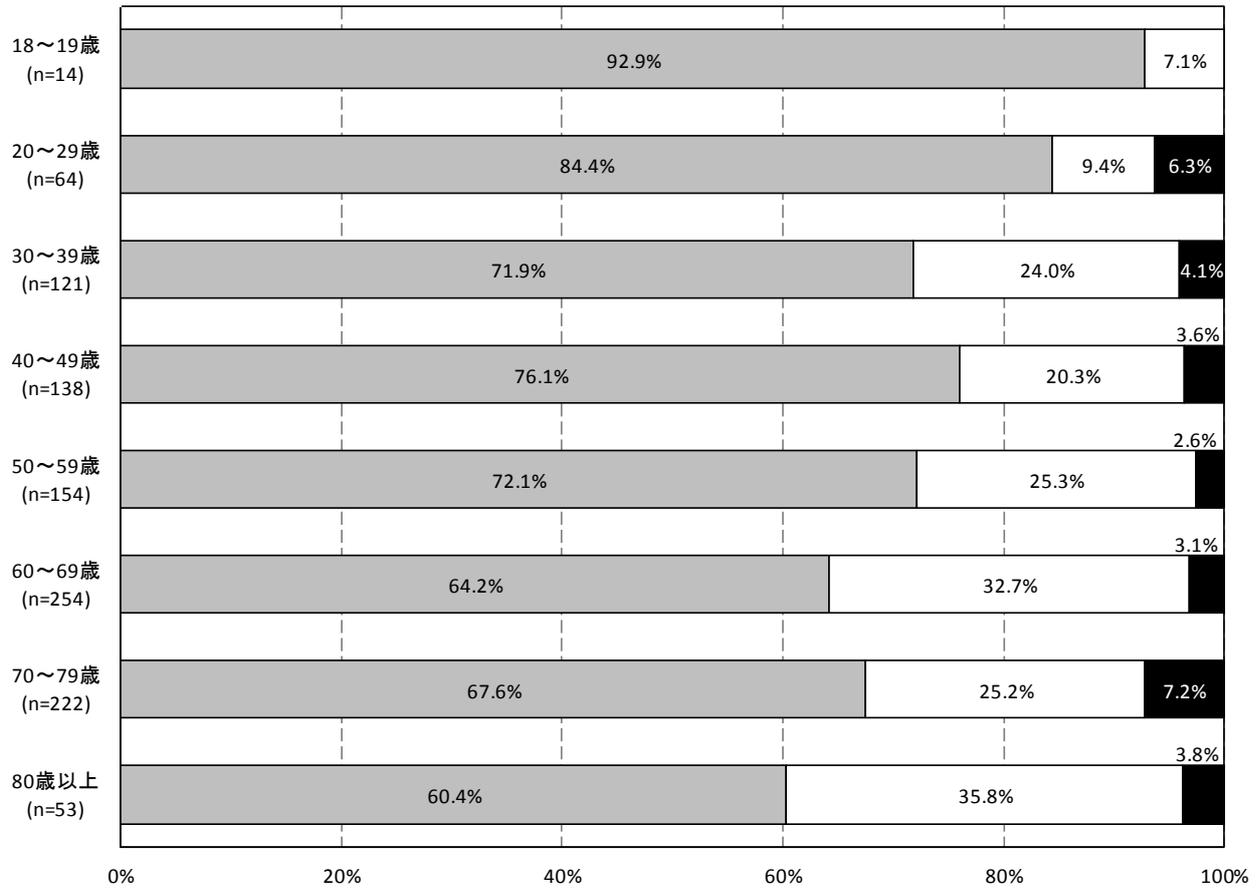


#### <男女別>



■ 思う      □ 思わない      ■ 不明

<年代別>



## 問 30-2 利用しない理由

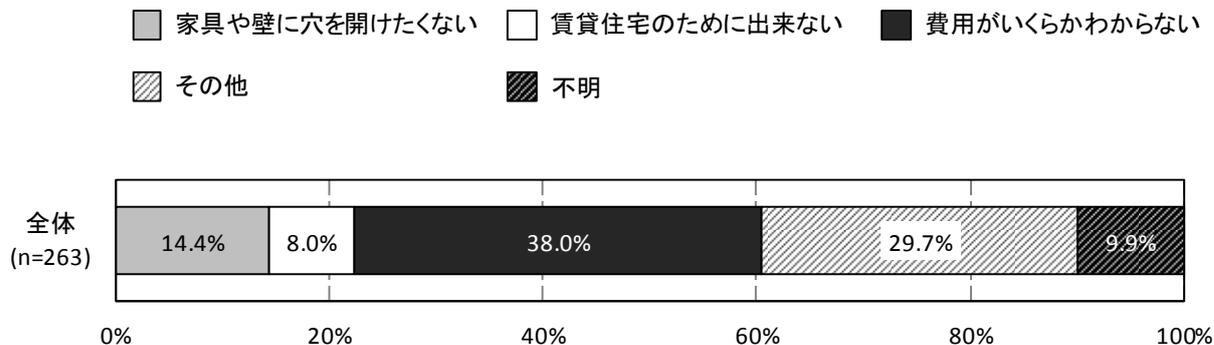
問 30-2 問 30-1 で「2. 思わない」と回答された方のみお答えください。

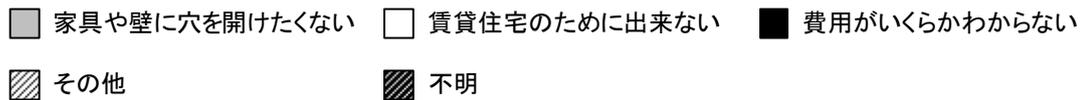
固定金具の取付を行いたくない理由は何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

1. 家具や壁に穴を開けたくない
2. 賃貸住宅のために出来ない
3. 費用がいくらかわからない
4. その他 ( )

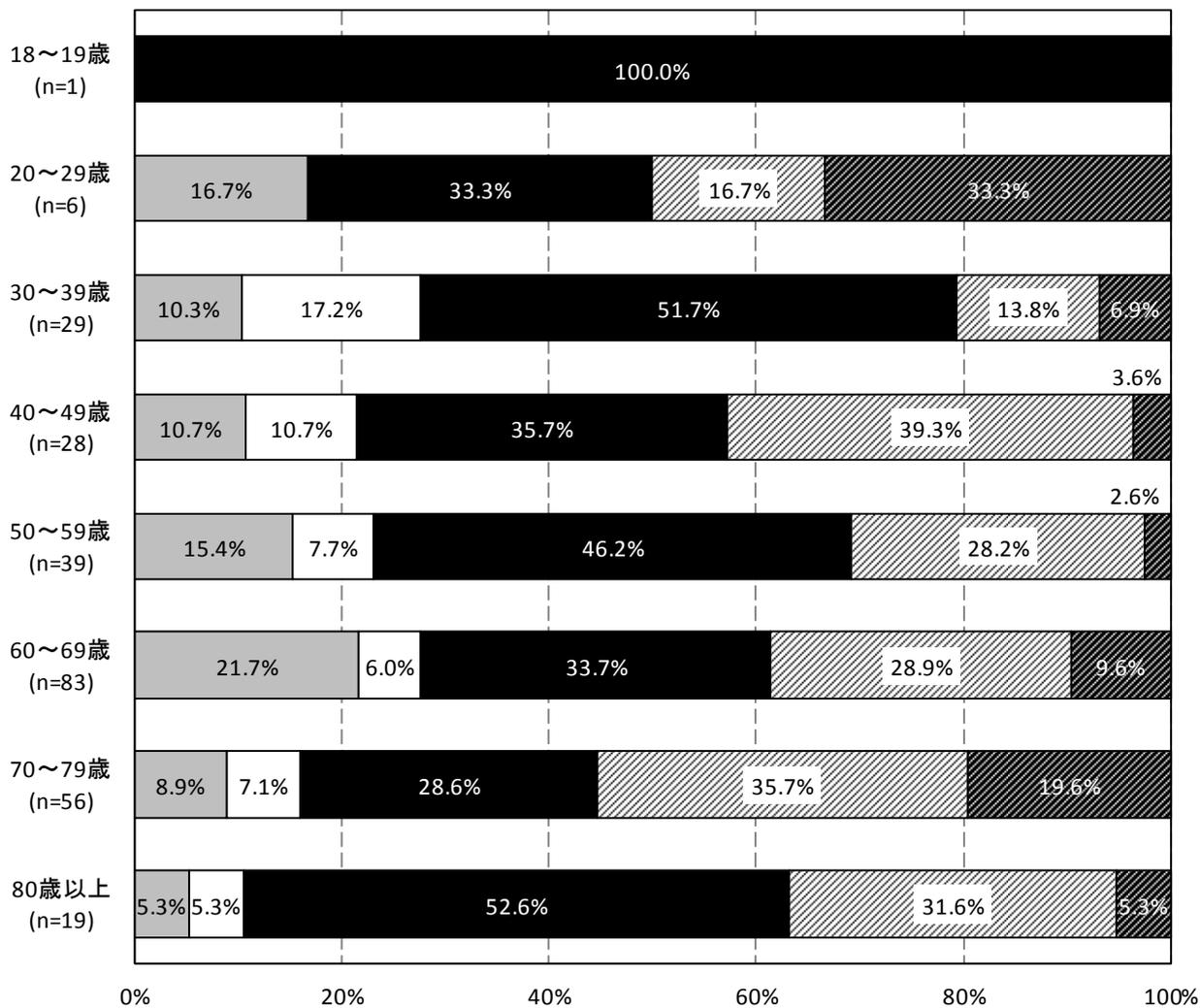
問 30-1 で「2. 思わない」と回答した 263 人について、固定金具の取付を行いたくない理由は、「費用がいくらかわからない」が 38.0%と最も多く、次いで「その他」(29.7%)、「家具や壁に穴を開けたくない」(14.4%)の順となっている。

年代順にみると、いずれの年代も「費用がいくらかわからない」が高めとなっており、40～49 歳、70～79 歳では「その他」が最も高くなっている。





<年代別>



その他：「自分でできる」、「取付け家具のため必要がない」、「効果があるのかわからない」など